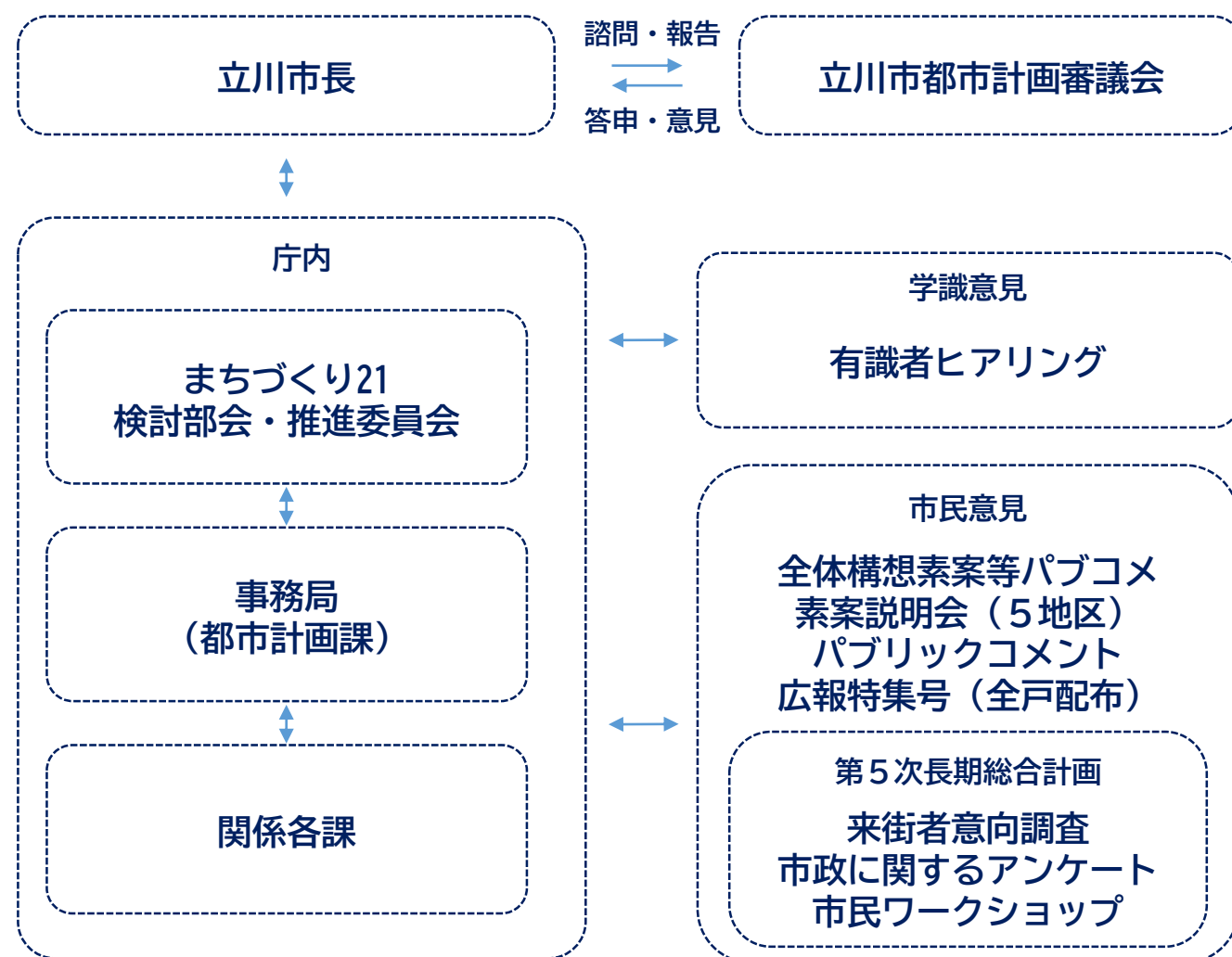


■ 市民意見を反映するための進め方について

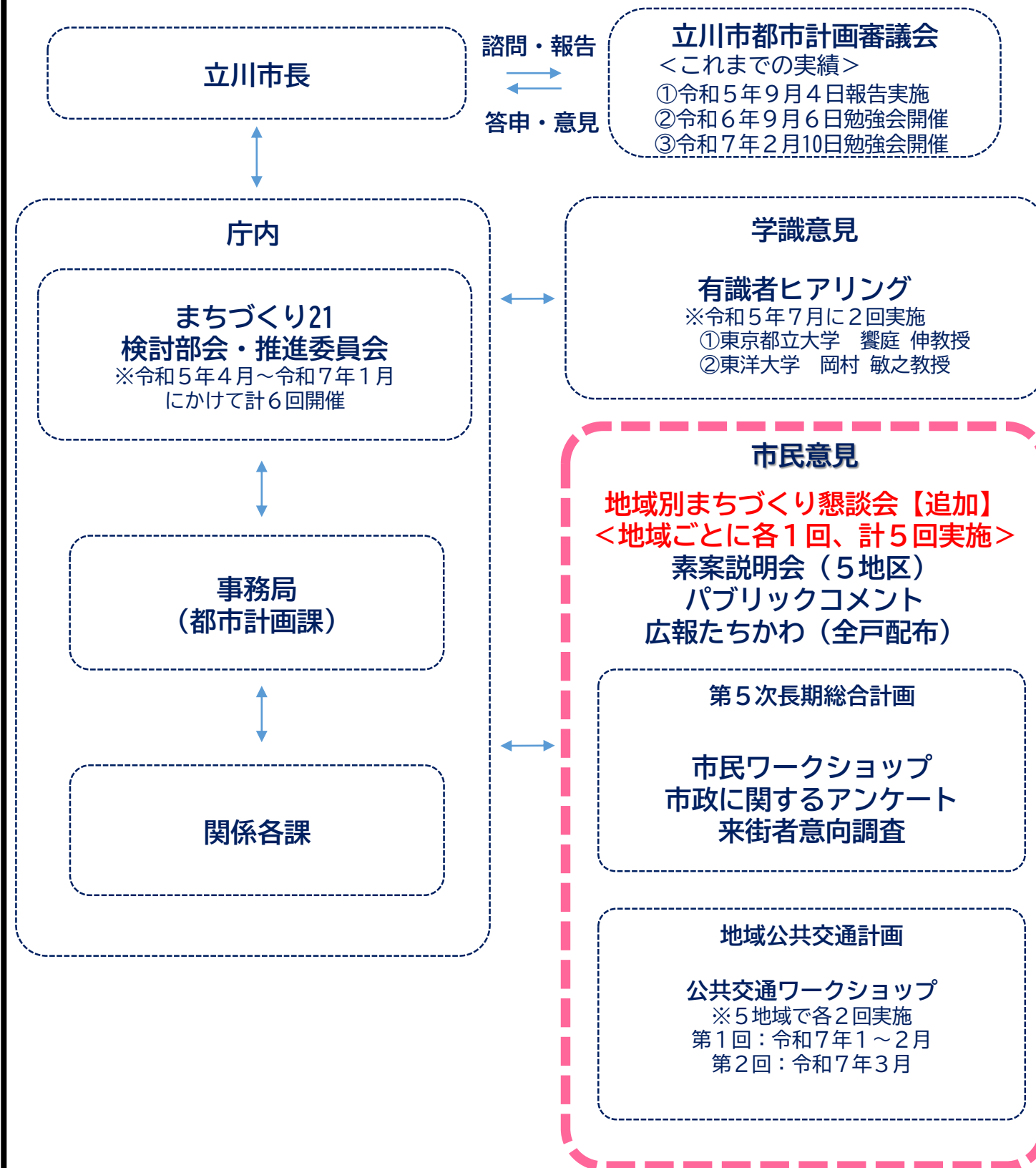
令和6年9月6日都市計画審議会勉強会 時点

策定体制



【変更後】

策定体制



■ 市政に関するアンケートについて

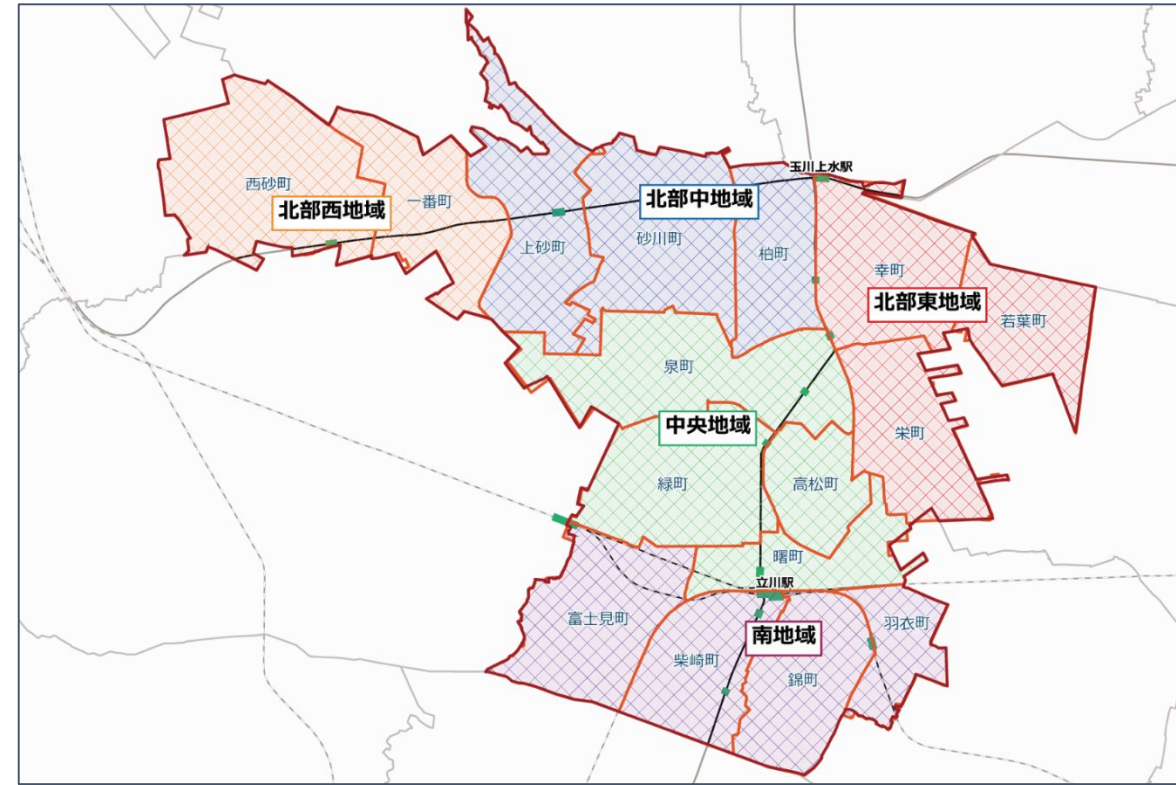
- 調査概要
 - (1) 調査目的
行政評価の一環として、第四次長期総合計画後期基本計画の進捗管理および成果指標の基礎資料とするため、市民の皆様が市の施策について感じていることや生活の実態、問題意識を把握する。
 - (2) 調査対象 3,000 人
 - (3) 抽出方法
層化無作為抽出（各町の人口規模・年代構成・男女比で比例配分のうえ、無作為抽出）
 - (4) 調査回収
郵送調査法、無記名方式
 - (5) 調査期間
令和6年4月1日調査票発送から4月22日回答投函締切
※令和6年5月23日 到着分まで受け付け
 - (6) 調査主体
立川市（総合政策部企画政策課）
 - (7) 回収結果
有効回収数： 900 件
有効回収率： 30.0 %

- 調査項目
 - ①子ども・学び・文化について
 - ②環境・安全について
 - ③都市基盤・産業について
 - ④福祉・保健について
 - ⑤行政経営・コミュニティについて
 - ⑥あなた自身のことについて
(性別・年齢・家族構成・職業・居住地)
 - ⑦今後の市政やまちづくりについてのアイデアやご提案・ご意見

■ 都市計画マスタープランへの反映について

市民意見を都市マスタープランの改定に反映することを目的として、『令和5年度 市政に関するアンケート調査』の結果を地域別に分析しました。

都市計画マスタープランに各分野に関連した設問について、「思う（ある）」の回答を2ポイント、「どちらかといえば思う（ある）」の回答を1ポイントとして偏差値を算出し、各地域における満足度について分野別に分析しました。



偏差値平均から10ポイント以上離れた項目を濃く着色■、5ポイント以上離れた項目を薄く着色■しています		南地域				中央地域				北部東地域			北部中地域			北部西地域	
項目	設問	富士見町	柴崎町	錦町	羽衣町	曙町	高松町	緑町	泉町	柴町	若葉町	幸町	柏町	砂川町	上砂町	一番町	西砂町
土地利用	お住まいの地域は、快適で住みやすい地域であると思うか	56	66	47	56	43	58	65	46	44	54	56	59	43	39	34	33
	お住まいの地域では、日々の生活に必要な店舗や診療所などの施設が備わっていると思うか	45	55	60	62	61	63	44	44	56	55	60	49	34	38	38	34
交通・道路・環境	お住まいの地域では、鉄道、多摩都市モノレール、バス、タクシーなど公共交通機関の利便性が高いと思うか	50	59	57	59	57	62	55	58	49	38	54	58	39	40	31	33
	市内の道路状況に満足しているか	52	53	55	63	48	48	51	73	39	37	58	58	40	38	36	52
環境・みどり	日ごろから身近に緑や自然を感じる機会があるか	56	60	28	26	42	48	54	51	44	61	57	52	60	53	57	51
安全・安心	お住まいの地域では、安全で安心した生活が送れていると思うか	54	58	46	52	47	45	47	83	43	41	51	56	45	39	43	51
魅力・地域のづくり	地域で子どもを育てる取り組み・活動（見守り活動・スポーツ活動・子ども会活動等）が活発であると思うか	54	51	49	66	44	46	37	70	47	41	55	63	45	54	32	45
	お住まいの地域では、地域の福祉活動等により、助けあい・支えあいができていると思うか	62	51	38	56	54	65	55	36	50	61	54	47	27	56	42	46
	何か困ったことがあるとき、相談したり、助けあったりすることのできる人（家族や親戚以外）が隣近所にいるか	48	45	47	43	43	43	75	30	51	45	51	59	55	52	66	47
偏差値平均		52	57	48	53	47	54	57	52	48	48	53	56	43	46	40	45
回答数		86	52	91	45	65	56	11	7	60	53	72	58	81	45	69	57



来街者意向調査について

調査概要

(1) 調査目的

立川市第5次長期総合計画の策定にあたって、来街者の意向を把握するためにアンケート調査を実施する。来街目的や立川市の印象等について質問し、調査結果を集計・分析し計画策定に向けた基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査方法

- ①調査地点 JR立川駅周辺 北口・南口のペDESTロリアンデッキ
- ②調査実施日 令和5年3月14日(火)・15日(水)・16日(木)・18日(土)・19日(日)・21日(火)(祝) 5月19日(金)・20日(日) の計8日間
- ③調査対象者 立川への来街者のうち、概ね中高生以上の男女を対象
- ④調査方法 該当インタビュー形式によるアンケートを実施し、600サンプルを目標として実施

(3) 調査項目

- ①あなた自身について
居住地、性別、未婚既婚、年代、職業、同行者数、同行者との関係
- ②来街状況について
交通手段、所要時間、来街目的、滞在時間、支出金額、来街頻度
- ③立川に対する評価について
イメージ、ブランドメッセージ認知度、印象、まちのおすすめ度、情報収集手段、居住希望、良いところ、悪いところ、求めるもの

(4) 回収結果

有効回収数： 775 件

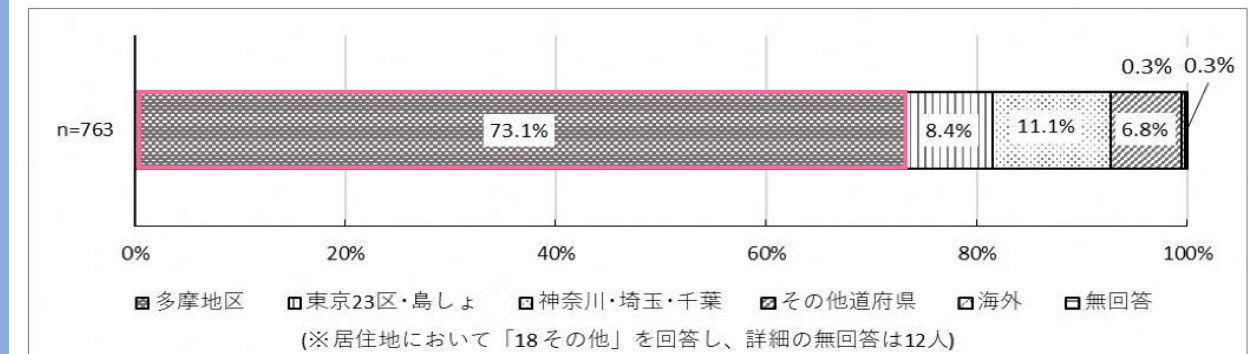
3/14（火）	3/15（水）	3/16（木）	3/18（土）	3/19（日）	3/21（火・祝）
119	119	128	39	129	96

5/19（金）	5/20（土）	計
56	89	775

都市計画マスタープランへの反映について

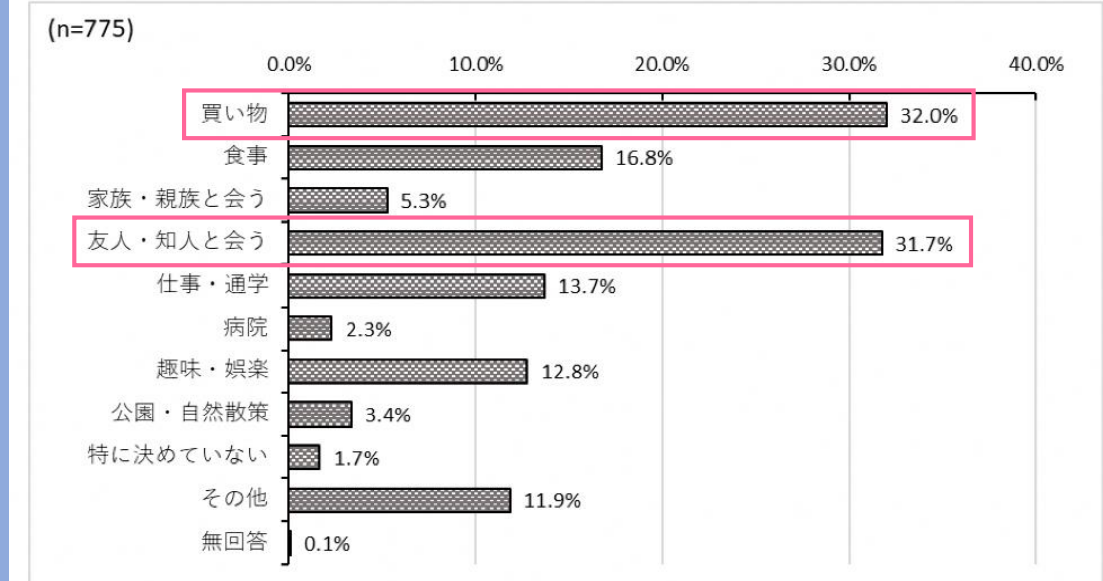
立川市外からみた立川市の魅力や役割について把握することを目的として、来街者意向調査の結果を分析し、都市計画マスタープランの改定に関連する項目を整理しました。

来街者の居住地



多摩地区からの来街者が最も多く、全体のうち73.1%を占めます。

来街の目的



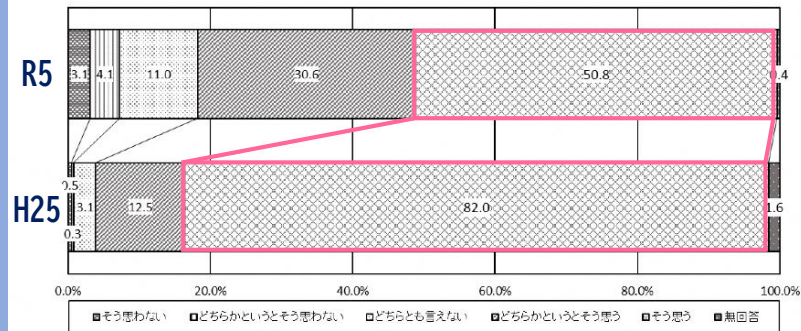
買い物を目的とした来街が最も多く、32.0%となっています。次いで、友人・知人と会うことを目的とした来街が31.7%となっています。

立川市の良いところ

項目名	集計値	構成比(%)
お店、商業施設、買物	173	30.8
交通アクセス	77	13.7
自然、緑、公園	42	7.5
イメージの良さ	29	5.2
景観	27	4.8
娯楽、遊び	27	4.8
公共施設	16	2.9
その他	129	23.0
わからない	12	2.1
特になし	29	5.2
全体	561	100.0

来街者からみた立川市の良いところとして、お店、商業施設、買物といった機能に魅力を感じる人が最も多く、30.8%となっています。次いで、交通アクセスの良さに魅力を感じる人が13.7%となっています。

【楽しくにぎわいがある】の評価の変化



立川市の印象【楽しくにぎわいがある】について、平成25年調査では「そう思う」が82.0%でしたが、令和5年調査では「そう思う」が50.8%に減少しています。にぎわいの低下が懸念される一方で、コロナ禍での調査だったことが一因の可能性もあります。



■ 立川市第五次長期総合計画市民ワークショップ

- 調査概要
 - (1) 開催期間 令和5（2023）年6月～11月（全6回）
 - (2) 参加人数 49 人（公募市民20人、無作為抽出、大学生4人、関係市民団体等推薦5人）
 - (3) 対象者 18歳以上の市内在住・在勤・在学の方
 - (4) 実施方法 参加者をA～Gの7班（1班7人）に分け、班ごとにワークを進め、話し合いの結果を各回の最後に全体に向けて発表
 - (5) テーマ
 - 第1回：「立川を知ろう」～長期総合計画を把握する～
 - 第2回：「立川を語ろう」～魅力と課題を洗い出す～
 - 第3回：「都市像を考えよう」～取組のアイデアを出す～
 - 第4回：「都市像・将来像を決めよう」～キャッチフレーズを決める～
 - 第5回：「都市像・将来像を描こう」～発表用パネルを作成する～
 - 第6回：「発表しよう」～パネルセッション～

● 第6回パネルセッションの様子



■ 都市計画マスタープランへの反映について

長期総合計画の改定に向けた市民ワークショップの結果より、多くの班から上がった意見を元に、立川市の魅力や課題について整理しました。

子ども・学び・文化	魅力	図書館が充実している	都市基盤・産業	魅力	交通アクセスが良い	
		アート・芸術を感じられる			商業施設が豊富	
		運動場、公園が多い			駅前の充実	
		国立研究所等、研究施設が多い			だいたいのはなんでも揃う、買い物に困らない	
		ファール立川が魅力			モノレールが通っている	
		花火大会			地元野菜	
	課題	子育て支援が充実		個人商店が魅力的		
		遊ぶ場所が少ない		新しい施設が増えている		
		学校、少年野球上場等の公共施設の老朽化		交通渋滞（ららぽーと周辺、高松大通り等）		
		給食費が有料		交通手段が少ない、不便（西砂町、一番町、上砂町、栄町、旧砂川町辺り）		
		公園の遊具が少ない		歩道・自転車レーンが狭い		
		ボールが使えない公園が多い		中心街とそれ以外の違い（買い物の不便、地域格差）		
環境・安全	魅力	学童に入れない	課題	バスの混雑による遅延、乗れない		
		自然が豊か		空き家がある		
		昭和記念公園が有名、緑が多く楽しい		畑が減った		
		玉川上水等、遊歩道が便利		駅周辺の物価が高い		
		静か		小さい家、緑のない家が増えた		
		桜がきれい、桜の名所が多い		デマンドタクシー、デマンドバスの導入		
	課題	ちょうど良い田舎、田舎の風景が見れる		市役所までのアクセスが悪い		
		治安が心配		駐車場が少ない		
		立川駅南口の風紀	行政経営・コミュニティ	魅力	市民団体、地域コミュニティがある	
		地下水問題、水害問題			いいね立川（サイト）、立川市LINE等、行政SNSの充実	
		スーパー堤防等、多摩川の防災			行政施設の充実	
		横田基地に隣接している			市役所の出張所がある	
		福祉・保健		課題	PFASが怖い	公共施設の老朽化
					スケボー、ポイ捨てなどマナーが悪い	地域行事、イベントが少ない
魅力	医療機関の充実				近隣とのコミュニティの希薄化	
	病院が多くて安心				イベント周知が少ない・分かりにくい	
	災害医療センターがある	自治会の退会・参加率の低下				

6班以上

5班

4班

で意見があがった内容



■ 立川市公共交通ワークショップについて（現在実施中）

● 実施概要

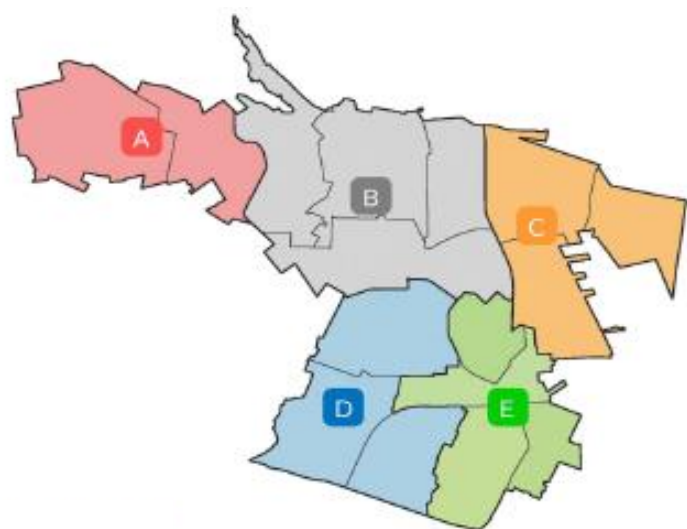
（１）実施目的

少子高齢化や利用者の減少、運転手不足など、公共交通を取り巻く状況の変化から、市内でも路線バスの減便などの影響が出てきており、持続可能な公共交通のあり方について検討する必要性が高まっていることから、市は「地域公共交通計画」の策定を進めている。

この計画策定の一環として、地域の方々に地域の生活や移動、公共交通について話し合っていただくため、ワークショップを開催するもの。

（２）開催期間 令和7（2025）年1月～3月（5地域ごとに2回ずつ開催）

地域（検討対象エリア）	
地域	検討対象エリア
A	一番町・西砂町
B	上砂町・砂川町・柏町・泉町
C	若葉町・幸町・栄町
D	富士見町・柴崎町・緑町
E	錦町・羽衣町・曙町・高松町



（３）参加人数 59人（第一回の全地域合計人数）

（４）対象者 15歳以上の市民

（５）テーマ

第1回：地域の生活・移動の現状を知って将来の地域の姿を考えてみよう

第2回：地域の生活と移動を支える公共交通を考えよう

地域	検討対象エリア	開催日時	会場
A	一番町 西砂町	第1回：1月19日（日）午後2時～4時 第2回：3月15日（土）午前10時～正午	西砂学習館
B	上砂町・砂川町 柏町・泉町	第1回：1月12日（日）午前10時～正午 第2回：3月23日（日）午後2時～4時	立川市役所
C	若葉町・幸町・栄町	第1回：1月12日（日）午後2時30分～4時30分 第2回：3月9日（日）午前10時～正午	幸学習館
D	富士見町・柴崎町・緑町	第1回：2月8日（土）午前10時～正午 第2回：3月9日（日）午後2時30分～4時30分	柴崎学習館
E	錦町・羽衣町 曙町・高松町	第1回：2月8日（土）午後2時30分～4時30分 第2回：3月15日（土）午後2時30分～4時30分	たましんRISURU ホール

■ 都市計画マスタープランへの反映について

調整中
（今後反映）